

## 自民党農林部会長を拝命しました

参議院議員上月良祐です。日頃より大変お世話になり、感謝申し上げます。

このたびの衆院選は、自民党にとって大変厳しい結果となりました。しかし経済対策、補正予算、税制改正、来年度予算の編成といった最重要課題はまったなしです。国民の声に謙虚に耳を傾け、より一層丁寧な国会対応を心掛けなくてはなりません。経済産業副大臣は十一月に退任し、党に戻って、農林政策の責任者である農林部会長を拝命しました。これまで農林水産政務官、農林水産委員長、党農産物輸出促進対策委員長等を経験してきました。農政では今後、改正食料・農業・農村基本法を踏まえ、五年間集中的に改革に取り組んでいくこととなります。生産性が高く、儲かる農業を支えるための基盤整備など、農業予算の増額が求められています。また、農業資材や電気・燃料代の高騰など負担は大きくなる中で、価格転嫁の促進は喫緊の課題です。現場を大切にしつつ、これまで取り組んできた輸出促進、農地政策についてもしっかり政策を進めていけるよう、部会長としての責任を果たしてまいりたいと思います。引き続きご指導いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



食料安全保障、価格転嫁、コメ対策、農地政策、輸出対策、野菜・果樹・畑作経営安定対策、畜産・酪農対策、甘味資源への対応、法律改正案の検討、経済対策、令和7年度当初予算、税制改正、要請受けなど連日朝早くから夜まで多くの会議や打合せが入ってきます。農林関係の党側のとりまとめ役であり、重い使命感と緊張感を持って働いてまいります。

## 現場こそ全て。土地改良の現場を視察



農地の改良現場について相談を受け、現状を把握するために直接関係者からお話を伺いつつ、現場を丁寧に見て回りました。県本庁、土地改良事務所、市役所、農家の方々と現場での進捗や課題を確認。いかに現場の声を受け止め、現場に寄り添った形で事業を進めていくことが大切か再認識できました。事業後に農業生産をしていく農地の改良は、様々な面で細やかな配慮が必要となる難しい事業です。

予算獲得はもちろん重要ですが、その際にも実際に事業が行われる現場の実情に思いを馳せることを忘れないようにしたいです。とにかく「現場こそ全て」です。

# 経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣を退任しました



経産副大臣を退任し、総務省の後輩であり当選同期の古賀友一郎議員に無事に引き継ぎました。万博準備、中央アジア出張、WTO 交渉、国会答弁、先進地視察、経済の講演、そして官公需の発注是正…、経産副大臣として様々な課題に全力で取り組みました。集中して必死に働きまくった 11 か月は本当にあっという間でした!

## 副大臣会議～官公需の発注について～

官公需とは? 国や地方公共団体等が、物品購入、役務・サービスの提供依頼、工事の発注を行うこと。



「賃上げと価格転嫁」のために、適正な官公需の発注の重要性について様々な業界で講演

官公需の発注を適正なものとしていくという見逃されがちだった重要な課題に焦点を当て、事業者や自治体から状況を聞き取り、官邸や関係省庁に直接足を運び対策の必要性を直訴。官邸と連携し、二度にわたって副大臣による会議を開催するなどして、取組みの方向性に道筋をつけました。政府全体を動かす最初の重要な一歩を大きく踏み出しました。

官公需の受注側の企業からは、「予算がないので価格転嫁には応じられないと断られた。公共事業なので請負会社としては、強くも言えず泣き寝入りだ。」「予算が限られているというだけで前年と同額での作業を求められた。」といった声も伺っています。大規模な経済対策を講じて、民間経済との接点は「発注」です。ひとつひとつの会社から見れば、そのひとつの発注こそ命。いい品質の仕事に適切な儲けがなくては賃上げなど夢のまた夢です。このテーマには引き続き頑張っ取り組んでいきたいと思ひます。

## 能登半島被災地視察をはじめ様々な公務を行いました



日本トルコ合同経済委員会及び日本トルコ・エネルギーフォーラムに出席。今年、両国の外交樹立 100 周年という節目の年。カーボンニュートラルに向けた取組を進める両国がエネルギー協力に係る包括的枠組みを立ち上げることは、ビジネス交流促進や新たなビジネスの発掘につながると期待されます。省エネルギー、再生可能エネルギー、新燃料・技術の3つの分野において、具体的な提案や活発な意見交換がなされ、両国間の幅広い分野において協力の潜在性があることを確認することができました。



8 月末の能登の被災地では、倒れたままの倒壊家屋、道路の復旧も道半ばで現状は大変厳しいものがありました。この後、更に豪雨被害も。地の利が厳しく、時間もコストもかかります。この現実を踏まえた復旧・復興対策に積極的に息長く取り組んでいく必要性を痛感しました。

上月りょうすけプロフィール

昭和 37 年生まれ/昭和 62 年 東京大学法学部卒・自治省入省/平成 17~24 年 茨城県総務部長、副知事/平成 25 年 参議院議員初当選  
平成 29 年 農林水産大臣政務官/令和元年 参議院議員再選/令和 2 年 農林水産委員長/令和 5 年 経済産業副大臣兼内閣府副大臣  
令和 6 年 11 月~ 党農林部会長

令和 6 年 11 月発行 討議資料

